

事業 番号	4 分野	事業名称	まち・ひと・しごと 創生総合戦略 該当箇所・交付金	事業概要	提案理由
1	地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする	公衆無線LAN環境の整備	(1) 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする (オ) ICT 等の利活用による地域の活性化 【検討交付金】 観光・防災Wi-Fiステーション整備事業	・ 防災拠点では、災害耐性の高いWi-Fiにより来訪者や住民の災害時の安全を確保する ・ 観光拠点では、移動環境に適したWi-Fiにより外国人等、観光客の利便性向上を図る	学校や避難所などの公共施設にWi-Fiスポットを設置し、普段は地域住民や観光客に向けた公衆無線LANサービスを提供するとともに、観光情報・行政情報の配信にも活用を図るなど、非常時は防災面、平時は観光面での情報インフラの整備を図る
2	地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする	シティプロモーション推進事業	神奈川県・東海大学との連携事業であるため、町で交付金メニューの活用は行わない	神奈川県・東海大学との連携事業による、モデル地区として先進的な町民参画指標を用いた「シティプロモーション」を行う	東海大学と連携し、町の魅力の発信、認知度向上を図るとともに、住民に地元愛や誇りを根付かせる
3	地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする	新規就農・経営継承総合支援事業	(1) 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする (エ) 地方への人材還流、地方での人材育成、地方の雇用対策 【検討交付金】 新規就農・経営継承総合支援事業	① 農業の維持発展のために若手の確保を図るため、新規就農者に対し給付金を支給する（既存事業） ② 町内の新規就農者に対して、作業小屋や洗浄機器、出荷作業機器の貸し出しの斡旋や賃料を助成する	町の抱える大きな課題でもある農家の後継者確保、荒廃地対策として新規就農者支援を強化する。 ①は既存事業であるが、新規就農者支援策として②と併せて新規就農支援事業として拡充を図る。

事業 番号	4 分野	事業名称	まち・ひと・しごと 創生総合戦略 該当箇所・交付金	事業概要	提案理由
4	地方にし ごとをつ くり、安 心して働 けるよう にする	ふるさと名物の 開発	(1) 地方にしごとをつく り、安心して働けるよう にする (イ)・(ウ) 地域産業 の競争力強化 【検討交付金】 ・ふるさと名物応援事業 ・創業・第二創業促進補 助金	①ピザを農工商で開発し出張 販売や飲食店で販売する。 ②砂口配水池の活用	地域一体で取り組む特 産品の創出 農家が小麦を作り 粉屋が製粉しパン屋が 生地を作る。 タカナシ乳業のチーズ を利用し肉以外は 全て中井産。 季節の野菜を トッピングする。 興業でピザ金を 搭載したキッチンカー を制作する。イベント 等に出張販売し中井町 産の野菜等をPRする。 併せて町のシンボルタ ワーでもある砂口配水 池のPR・活用を図るた め、周辺整備を行いデ ントやキッチンカーな どでの簡易的なカフェ をオープンし特産品で あるピザ販売を行う。
5	地方にし ごとをつ くり、安 心して働 けるよう にする	ふるさと名物の 開発	(1) 地方にしごとをつく り、安心して働けるよう にする (イ)・(ウ) 地域産業 の競争力強化 【検討交付金】 ふるさと名物応援事業	真竹の味付け煮 チーズケーキ お惣菜	特産品の創出
6	地方にし ごとをつ くり、安 心して働 けるよう にする	中井P A名産品直 売所事業	(1) 地方にしごとをつく り、安心して働けるよう にする (ウ) 地域産業の競争力 強化	東名高速道路中井P Aに、中 井町の名産品の物産直売所を 設置する。 中井の野菜、食品加工、お土 産品などを販売する。	本事業の実施により、 中井の名産品の販路拡 大、6次産業化が図れ る。

事業 番号	4 分野	事業名称	まち・ひと・しごと 創生総合戦略 該当箇所・交付金	事業概要	提案理由
7	地方への 新しいひ との流れ をつくる	持家支援助成事業	(2) 地方への新しいひ との流れをつくる (ア) 地方移住の推進 【検討交付金】 地方への移住・交流の推 進（特別交付税対応？）	町内での持家購入、二世帯・ 三世帯住宅への増改築をしようとする者に、購入費用・増 改築費用の1/2を助成する。	本事業の実施により、 ファミリー世帯の転出 抑制、転入促進を図 り、定住人口の増加を 目指すため
8	地方への 新しいひ との流れ をつくる	大学連携事業 地元学生定着促進 事業	(2) 地方への新しいひ との流れをつくる (ア) 地方移住の推進 【検討交付金】 地方への移住・交流の推 進（特別交付税対応？）	転入促進策として東海大学・ 神奈川大学に在学もしくは入 学を予定する者で、本町に転 入（住民登録する者）に対 し、入学支援金を助成する。 在学期間中中井町に住み続け ること、自治会加入や活動へ の参加を助成要件とする。	転入促進とともに、若 者の増加による町の活 性化、大学までの通学 経路を中心とした、人 の流れを生み出す。
9	地方への 新しいひ との流れ をつくる	大学連携事業 （インターンシッ プ等）	(2) 地方への新しいひ との流れをつくる (ウ) 地方大学等の活性 化 【検討交付金】 地（知）の拠点大学によ る地方創生推進事業	町内に住む学生を対象とし て、町内企業との連携によ り、インターンシップの実施 などにより就業支援を図ると ともに、町内企業への採用に よる定住化施策とする。	事業番号8とセットで 事業展開することによ り、単なる入学時の助 成だけでなく、就職を 視野に入れた学生に対 してソフト面でのメリ ットを感じてもらう ことで転入促進や定住 化に繋げることを目的 とする。

事業 番号	4 分野	事業名称	まち・ひと・しごと 創生総合戦略 該当箇所・交付金	事業概要	提案理由
10	若い世代 の結婚・ 出産・子 育ての希 望をかな える	子ども・子育て支 援事業	(2)若い世代の結 婚・出産・子育 ての希望をかな える (ウ)子ども・子 育て支援の充実	①保育料・給食費助成事業安 心して子どもを産み育てらる ことができるように、町内の 子どもの保育料助成と学校給 食費の補助により、次代を担 う子どもの成長と子育て家庭 の経済的負担の軽減を図る。 (先行型事業) ・保育料助成年額5,000円 ・給食費補助300円／月、中 学生400円／月) ②高校等通学定期券購入補助 事業 路線バスや鉄道の通学定期 券利用し、通学する高校生等 の保護者の経済的負担を軽減 する。 補助額：対象経費の1/2	子育てに係る負担の軽 減などを通じて、子ど も・子育て支援の充実 を図る。
11	時代に 合った地 域をつく り、安心 な暮らし を守ると ともに、 地域と地 域を連携 する	生活交通促進事業 (小さな拠点形成事 業)	(4)時代に合った 地域をつくり、 安心な暮らしを 守るとともに、 地域と地域を連 携する (ウ)地方におけ る経済・生活圏 の形成	町内のコンパクトな移動をデマンド交 通でカバーする。高齢者や児童など交通 弱者や買い物弱者の移動の確保をするオ ンデマンドバスの利用促進と町民の利用 定着を図るため、おとし利用券（買い物 支援券）を発行し、小さな拠点の生活 サービスを提供する。 ・おとし利用券（買い物支援券）の印刷 費・実際に利用されたおとし利用券（買 い物支援券）を運行事業者が回収、 請求のあった利用代金について精算払 い 路線バスが優先的に通行するためのP T P S導入 ・バス利用者の利便性向上 ・大量公共輸送機関の利用促進 ・バス運行の定時性確保 ・バスの信号停止時間の短縮	・ 中山間地域等の地域 の絆の中で、小さな拠 点における生活サービ ス支援する。 ・ 公共交通の利便性を 向上し、交通弱者の移 動しやすさを高めるた めに、マイカーと路線 バスで最も移動時間差 の生じる区間にバスロ ケーションシステムを 導入し移動時間の短縮 化をめざす

事業 番号	4 分野	事業名称	まち・ひと・しごと 創生総合戦略 該当箇所・交付金	事業概要	提案理由	
12	時代に 合った地 域をつく り、安心 な暮らし を守ると ともに、 地域と地 域を連携 する	中心拠点活性化事 業	(4)時代に合った 地域をつくり、 安心な暮らしを 守るとともに、 地域と地域を連 携する (ウ)地方におけ る経済・生活圏 の形成	県西地域活性化プロジェクト の推進を機に、観光・交流の 拠点であり、未病いやしの里 の駅でもある「中井中央公 園」を含めた、役場周辺地区 「中心拠点」整備を計画し、 国・県の指導、協力のもとあ らゆる手法を検討し、新たな まちづくりを推進 ○基本構想策定	中心部と周辺の小さな 拠点の連携による魅力 あふれる地域を創出す る	

○総合戦略提案事業候補（予備登録）

事業番号	4分野	事業名称	まち・ひと・しごと 創生総合戦略 該当箇所・交付金	事業概要	提案理由
1	地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする	総合型スポーツクラブ設立事業	(1) 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする (ウ) 地域産業の競争力強化 ◎地域の歴史・町並み・文化・芸術・スポーツ等による地域活性化 【検討交付金】 スポーツによる地域活性化推進事業 (文部科学省)	・指定管理者による各種スポーツ教室等の実施 ・学童保育や学校部活動との連携 ・体育協会等を主体とした事業実施体制の構築・担い手の育成	誰もがスポーツに親しむことができる社会を実現するために、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ活動の場として、地域住民が主体的に運営することによって、雇用の創出が見込まれる
2	地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする	情報教育推進事業 (タブレット導入)	(1) 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする (オ) ICT等の利活用による地域の活性化 ◎ICTの利活用による地域の活性化 【検討交付金】 人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上	神奈川県・東海大学との連携事業による、モデル地区として先進的な町民参画指標を用いた「シティプロモーション」を行う	本事業の実施により、特色ある教育、魅力ある学校をPRすることで、子育て世代の呼び込み、定住化を促す。また、ICT活用能力の向上を図り、社会で生活していく上での基礎となる確かな学力を育む。

事業 番号	4 分野	事業名称	まち・ひと・しごと 創生総合戦略 該当箇所・交付金	事業概要	提案理由
3	地方への 新しいひ との流れ をつくる	地域の人材活用等 による総合的な学 習支援体制の確立	(2) 地方への新しいひと の流れをつくる (ウ) 地方大学等の活性化 【検討交付金】 学校・家庭・地域の連携 協力推進事業 【検討交付金】 学校・家庭・地域の連携 協力推進事業 帰国・外国人児童生徒等 教育の推進支援事業	①学校教育ボランティア事業 学校・地域・教育委員会が 連携して、小中学校の部活動 や学習を支援するため、地域 の人材を登用・育成・活用 し、以て学校教員の多忙化解 消と地域コミュニティの活 性化を図る。 ②学習生活支援事業 日本語指導を必要とする外 国籍の児童生徒のために日本 語指導員を配置することで、 円滑な学校生活が営めるよう 支援する。 (具体的な支援方法) ・日本語個別指導 ・取り出し学習支援 ・保護者への連絡調整 ③土曜学習事業	①特色ある教育をPR し、子育て世代の定住 化を促す。また、学 校、地域住民等がそれ ぞれの役割と責任を自 覚し、地域全体で教育 に取り組む体制づくり を目指すことにより、 地域コミュニティの 活性化を図る。 ②児童生徒の一人ひと りの教育的ニーズに応 じたきめ細やかな学習 機会を提供し、外国人 の定住を促進し、人口 減少化の緩和を図る。 ③
4	地方への 新しいひ との流れ をつくる	中井町版 キッザニア事業	(2) 地方への新しいひと の流れをつくる	町内企業、地元大学などと連 携し、小中学生等を対象とし た職業体験、学習体験を実施 する。	民間企業が運営する キッザニアのような職 業体験施設を、中井町 と町内事業者が連携 し、こどもの職業体験 の場や機会を体系化し 事業化することで、町 内事業者等の地域資源 としての活用、企業の 社会貢献や、次世代を 担うこども達の多様な 社会教育の場・機会の 提供を図るとともに交 流人口の増加を目指す